



～内閣府「コミュニティ防災教育の推進モデル地区」の取組～

樟葉南小学校では毎年枚方市の取組として、児童が在学中にAEDを活用し、いのちの大切さを学ぶ教育を受けられるよう、毎年6年生を対

象に枚方寝屋川消防組合による「救命入門コースジュニア」を実施しています。さらに、校区防災委員会のご協力のもと、子どもたちの防災力を高めるため、3年生・5年生でも同じ内容の授業を行い、夏には4～6年生の希望者対象とした「キッズ防災キャンプ」を実施するなど、防災リーダーの育成に力を入れています。



救命入門コースジュニア

今年度は、内閣府「コミュニティ防災教育の推進モデル地区」に採択され、これまでの取り組みに加えて、子どもたちは「高齢者向け防災教室」のお手伝いをしたり、「京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリー」や「阿倍野防災センター」を見学させていただいたりしました。

「宇治川オープンラボラトリー」では京都大学の先生の講演を聞き、施設見学や体験を通して、水害について深く学ぶことができました。

「阿倍野防災センター」では実際の災害を想定したさまざまな体験活動に取り組み、消火器の使い方やマンションからの避難を想定した降下体験などを行いました。これらの活動を通して、災害時に自分の身を守るために必要な行動を考え、防災意識を高めることができました。

2月には「5歳児向け 防災教室」、3月には「能登半島地震被災地訪問」を予定しています。対象は4年生以上で定員がありますが、貴重な学びの機会です。多くの子どもたちが参加し、様々な体験を通して防災意識を高め、地域の防災リーダーとして成長してくれることを期待しています。また、「キッズ防災キャンプ」には毎年卒業生である中学生・高校生・大学生も参加してくれています。この良き伝統を、これからも引き継いでいってほしいと思います。※「能登半島地震被災地訪問」の申し込みは2/28〆です。詳しくはまなびポケットに配信しています。たくさんのお申し込みをお待ちしています。

阿倍野防災センター
消火器体験キッズ防災キャンプ
給水体験宇治川オープンラボラトリー
水圧体験

～地震避難訓練を行いました～

学校では、いつ起こるかわからない地震に備えて、毎年避難訓練を実施しています。今回は、先生が近くにいない状況でも自分で考えて行動できるよう、休み時間に訓練を行いました。事前指導で学んだことを生かし、子どもたちは先生からの指示がなくても落ち着いて避難することができました。避難の際の大切な約束である「おはしも」を守り、安全に行動する姿が見られました。今回の訓練で身につけた力が、いざというときに自分の命を守る行動につながることを願っています。



地震避難訓練

～卒業・進級に向けて～

卒業・進級に向けて準備を進める中で、子どもたちの中にも次の学年を意識する気持ちが高まっています。6年生は卒業式に向けて歌の練習が始まり、他の学年でも最後の授業参観や6年生を送る会に向けた活動が進んでいます。今年度のまとめをしっかり行い、子どもたちが来年度に良いスタートを切れるよう、学校全体で準備を進めていきたいと思います。

